

【良かった点】

- ・多職種と意見交換できた点。
- ・ロールプレーにより未熟さが分かって良かった。
- ・総合時間が適度な長さで良かった。
- ・慢性疼痛の考え方が変わった。コミュニケーションは苦手だが必要さを感じたので、明日の診療から頑張りたい。
ワークショップ形式だったので眠らずに受講できた。
- ・他職種の考え方や意見を聞くことができ勉強になりました。
多くの人とコミュニケーションをとり、いろいろな考え方を取り入れていきたいと思いました。
- ・グループディスカッションにて色々な方の意見がきけました。
また違う職業の方の意見が聞けるいい機会でした。
- ・良い先生、悪い先生の比較は良くわかって良かった。
下肢痛の患者に手術がプラセボとなる事があるのは驚いた。
何をエンドポイントとして患者さんに向き合うか改めて考える機会になりました。
- ・ロールプレーが多く、体験的に学べたり、臨床について考えることができとても良かったです。特に最初のワークショップの患者に何を聴くか、何をすべきか考えるワークで他職種の意見をいろいろときけたのが良かったです。
- ・色々な職業の方々の意見を聞くことが出来ました。
実際にワークをすることで普段の臨床で感じていることを明確にすることが出来ました。
- ・様々な職種の意見が聞けるワークショップは有意義であった。1つのテーマに関して、ディスカッションする機会が少ない為、臨床心理士、医師の先生方から見た視点には様々な気づきをえた。
- ・具体的なロールプレイングや他の職種の方々とのコミュニケーションを取れる機会が非常に多かったので、リアルな意見や状況がわかり勉強になりました。
明日からつかってみようと思う知識が多かったと思います。
- ・痛みについて多職種がどのように取りくんでいるかがわかった。
- ・漫然とおこなっていた今までの診療の問題点に気づけた。
- ・慢性痛に対する医療者側の必要な「姿勢」「取り組み」が理解できた。
- ・ワークショップということで自分自身が患者になることで気持ちを理解できた。様々な職種の意見を聞くことができた。
- ・ワークショップ形式やグループワークで話し合いができたこと。
- ・幅広く多職種の方のアプローチを聴き学ぶことができ、狭視野に陥りやすい、短時間診療の中で問うべき留意点の頭の整理ができた。
- ・全くの専門外でしたが、わかりやすい説明が多く理解することができました。
コーチングと患者様への対応がほぼ一緒なことにおどろきました。
- ・多職種の方と疼痛についてディスカッションすることがはじめてでした。
各職種の意見や思考が聞けてとても参考になりました。
- ・問診での悪いパターンと良いパターンを実践していただいたことで、共感することの大切さを改めて実感することができて良かったです。

- ・三木先生が楽しい。
多職種のお話が聞けた。
- ・ワークショップ形式であったこと。内容も分かりやすかったです。
- ・小チームに分かれてディスカッション出来る機会が多いことが素晴らしいと思いました。
先生方のお話しも具体的で、実臨床に使用出来ることが多く、勉強になりました。
- ・患者様の立場に立って考えることができた。
- ・医師、臨床心理士の方々と交流ができて様々な意見交換ができたこと。
- ・事例、ロールプレイなどで具体的イメージをつけやすくしていただき、よかったです。
- ・治療者として関わるスタンスと知識の整理が出来る情報が得られた。
- ・他職種の方々とディスカッションできて良い刺激になりました。
- ・実際の職場には臨床心理士の先生はいないので、今回の研修会で話を聞くことができたので、とても勉強になりました。
ありがとうございました。
- ・ディスカッションを行うことでいろいろな意見を聞くことができて勉強になりました。
自分のしていた事が、疼痛行動を強化していた可能性があること分かりました。行動をゴールに設定しようと思います。
まずは共感することが大切だと分かりました。
- ・ワークショップ：コミュニケーションスキル
 - ・酒井先生のコミュニケーションの講演
2つがとても役に立ちました。
三木先生、いつもありがとうございます。
- ・医師を始め、他業種の先生と話をできた事と、コミュニケーションが疼痛に影響する事や、その対応をいかに好循環にもっていくかを知れました。
- ・普段は接することのない業種の方とグループワークをすることができたので、改めて自分に不足している視点や、知っているつもりがおろそかにしている点に気づくことができました。
- ・上から目線はダメ、と学んだ。
グループ討論はよかった。
- ・ワークショップが企画されていたこと。
- ・痛みの診療で患者さんと向き合う姿勢について学ぶことができました。
ありがとうございました。
- ・普段、聞けない話を聞くことが出来、明日からの診療に使いそうです。
- ・療法士、麻酔科医のみかたがうかがいしれた。
会場が駅ビルでアクセスがよかった。
何ととっても無料なのがよい。
- ・ロールプレイを踏まえながら、心理社会面を考える良いきっかけになったと思う。
- ・他職種との交流、意見交換ができ良かった。
実際にコミュニケーションを体験できたこと。
- ・ロールプレイ。
かわた Dr. の取り組み紹介。

- ・慢性痛はいつ出あうかわからないので、患者さんの言動1つ1つに敏感に感じとれる医療者となるよう、臨床にとりくみたいと改めて思う。
多施設・多職種でロールプレイすることで、ちがう視点がわかる。
自分の心の健康も大事だと思った。
- ・ワークショップとして討論する機会があるので、多くの考えが自身に入った。
又、多職種の方と話が出来たことも良かった。
- ・慢性疼痛の患者様に対してマイナス感情をいただくことがありましたが、自分自身のかかわりが大きく影響しているのだとわかりました。メンタル面も follow できるようにがんばって行きたいと思います。
- ・様々な職種の先生方の貴重なご意見と考え方をお教えていただき勉強になりました。
また院内で研修する際には今日勉強させていただいたことを参考にさせていただきたいと思います。
- ・ワークショップ形式で様々な意見がきけた。
- ・コミュニケーションの取り方など日々の臨床に少しずつ活かせる点があったと思いました。
また、痛みの目標設定について悩むことが多く、今後の臨床で活かせると感じました。
グループワークで他職種の意見がきけて良かったです。
- ・他職種の意見が聞けた。
いたみセンターや開業医での実際の診療の様子が学べた。
- ・ふだん関わることのない他の職種の方の話をきくことができたり、交流ができてよかったです。
今後やっていこう！と思うことが見えてきたので良かったです。

【改善した方がよい点】

- ・講師チョイス。
机とイスの配置。(首が痛い)
- ・参加者同士の交流をもっと進めてもらえばと思います。
- ・後半はディスカッションの時間があたらよかったです。
- ・内容が深い時間が短く感じました。
- ・最後の先生、3分診療の理由はあまり良くなかった。
- ・休けいがもう少しほしかったです。
- ・意見交換の時間がもう少しあると良かったと思います。
- ・スライド中心の講義は集中できないので、ワークショップやディスカッション中心である方がより有意義な時間となりやすい。
- ・集中力があまり続くタイプではないので、1.5hに1回ぐらいは5分でもいいのでプログラムに休暇を頂けると嬉しいです。
ですので結果、休暇をとっていただけたことはうれしかったです。
- ・タイムスケジュールがルーズ。
- ・休憩時間の設定。
- ・後半は話し合いが少なかったか。

- ・会場がわかりにくいので、どこのエレベーターに乗ったらいいか、ガイド的なものをお知らせいただければと思います。
 - ・タイムコントロール。
 - ・特にありませんが、机が横向きで、講演を聞く時は首が痛いことがありました。
 - ・患者様の意見に共感することが大切だと思った。
 - ・休憩時間を後半にも予定しておいていただきたかったです。
 - ・途中休憩時間が足りないように感じました。
 - ・総論はいらない。(講ギ2と3)
 - ・発表の内容。
 - ・時間の管理をもう少し厳格にして欲しい。(遠くから参加していると気になってしまいます)
 - ・後半セッションの間に休憩を。
 - ・症例を通した経験等もお聞きしたい。
 - ・もっと症例がききたかったです。
 - ・患者さんの準備性についても勉強できればうれしいです。
 - ・内容について、職種に特化しすぎている様な内容があり、理解が難しかった。
 - ・グループワークの時間をもう少し欲しかったです。
 - ・教科書的な話にとどまるのではなく、海外との比較もしながら最新の論文、エビデンスの紹介がほしかったです。
 - ・ワークがとても多く少し疲れてしまった。
-
- ・特になし。
 - ・ありません。
 - ・特にありません。

【その他】

- ・次回も機会があれば参加したい。
- ・三木先生の好悪いお医者さん演技は、色々な悪いPointがちりばめられていらっしやり、勉強になりました。お人柄の良さはでていましたがありがとうございます。
酒井先生のワークは日々のふりかえりにもなりました。
- ・参加者同士の交流の時間がもう少しあればなおよい。
- ・色々な視点から話題を提供していただき、とても楽しい時間でした。
- ・4hr.のワークショップでは2回の休憩は必要ですね。
- ・参加させていただき、ありがとうございました!!
- ・多職種の方の意見が聞ける貴重な機会でした。
- ・参加している職種に片寄りがあるように感じました。(広報のせいというよりも参加する側の意識の問題かもしれませんが)
認知行動療法で改善した当事者の話が聞ければ尚よかったですと思います。
- ・多くの情報が得られました。今後も参加すると思います。よろしく願いいたします。

- ・貴重な研修ありがとうございました。
- ・他職種がどんなふうに連携を「開始」できるのか。
(今、保険的にも理解がないため、病院の持ち出しになるし、医療者側の負担が大きく、理解が得られず、診療者自身がコドクに治療している。